

予防意識を高め、日常生活の中で主体的に健康管理をしようとする児童の育成 ～個人目標の意思決定と「健康管理ウィーク」を通して～

特別研修員 健康教育 高橋 野人 (小学校教諭)

目指す児童像：予防意識を高め、日常生活の中で主体的に健康管理をしようとする児童

手洗いを習慣にすると、かぜをひかないし、自分の健康を守ることができてよいと思った。これからは、一人で取り組めるように、ポスターを見て、1日の仕事の一部として、毎日自分から手洗いをしたい。

実践後の児童の記述



声を掛け合って手洗いを
する様子

手立て2:「健康管理ウィーク(日常生活の中で健康管理の取組を実践し、振り返る活動)」の設定

事後の活動 個人目標の達成に向けた実践及び

計画委員を中心とした「振り返りタイム」での個人目標の振り返り

～「健康管理ウィーク」の取組の様子～

昨日の生活を振り返って、コメントを記入しましょう。

昨日は、自分から進んで手洗いができたぞ。

みんなで「手洗いをしよう」

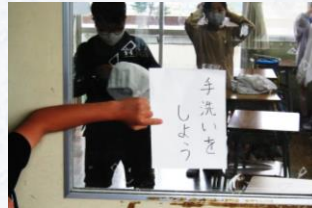
石けんを使って30秒以上洗おうね。



計画委員による朝の会での「振り返りタイム」



児童が作成したポスター



休み時間の手洗い

手立て1:保健委員を中心とする計画委員の取組を生かした本時の活動の設定

ねらい「手洗いを定着させるための多様な解決方法を考える活動を通して、自分の課題に合わせた個人目標を意思決定することができるようにする」

事前の活動 計画委員による養護教諭への健康管理の情報収集及び生活記録による課題把握

本時の活動 自分の課題の把握及びアドバイスを基にした個人目標の意思決定

手洗いは、体の中にウイルスが入るのを防ぐため、自分の健康を守ることができます！

友達と一緒にすると、手洗いを忘れなくなるかもしれないね。



計画委員による説明の様子



グループでのアドバイスの様子

○学校での手洗いの目標を立てよう。

問題	たまに忘れてしまうことがある。
結論	わたしは、自分の健康を守るために朝来たら、手を洗う。休み時間や授業が終了したらこまめに手を洗う行動します！

行動目標:私は、朝学校に来たら、手を洗う。休み時間や授業が終わったらこまめに手を洗う行動をします。

個人目標の意思決定

児童の実態 かぜ・感染症予防に進んで取り組む児童が少ない。

教師の願い 健康管理の大切さを理解してほしい。日常生活の中で健康な体を保ってほしい。

成果：本時の活動において個人目標を意思決定し、実践及び振り返りを行ったことで、児童が自ら健康管理に取り組む姿が見られた。また友達に健康管理の取組を呼びかける姿が見られた。よって、主体的に健康管理をしようとする児童が育成できた。

課題：取組を継続することが苦手な児童が見られたことから、児童の特性に合わせ、個別指導を取り入れていく必要がある。

提言：学校全体で、継続して健康管理に取り組み、「主体的に健康管理をする児童」を育成しましょう。

学級活動「感染症の予防」